

2026年6月11日

各 位

JX金属株式会社

ハードディスクメディア向け磁性材スパッタリングターゲットの生産能力増強について

JX金属株式会社（社長：林 陽一、以下「当社」）は、ハードディスクドライブ（以下「HDD」）に搭載されるハードディスクメディア（以下「HDメディア」）に使用される磁性材スパッタリングターゲットについて、2026年度下期より生産能力の増強を段階的に実施いたします。

生成 AI やクラウドサービスの急速な普及を背景に、データセンターで取り扱われるデータ量は加速度的に増加しております。HDD はこうした大容量データを効率的に保存するストレージとして、データセンターにおいて重要な役割を担っており、この需要の伸びは中長期的に継続することが見込まれています。

HDD は磁気を利用して記録層にデータを保存する装置です。当社は、この記録層の成膜に不可欠な磁性材スパッタリングターゲットを長年にわたり供給してまいりました。

近年、HDD の記録方式は従来の PMR ^(※1) 方式から、さらなる記録容量の大容量化を実現する次世代記録方式である HAMR 方式 ^(※2) の実用化が進んでおります。これに伴い、HD メディアでも新たな材料採用が進んでおり、当社が保有する幅広い材料知見と製造技術を活かして、顧客製品の性能向上に貢献するとともに、磁性材ターゲットの採用拡大を目指しています。

このような状況のもと、今後の需要の拡大に確実に対応していくため、2026年度下期より磯原工場の磁性材スパッタリングターゲットの生産能力の増強を決定しました。今後も市場動向及び顧客のニーズを注視しながら、段階的に供給体制の強化を進めてまいります。

なお、当社グループでは、AI データセンター関連分野等における旺盛な需要を踏まえ、先端材料事業における複数製品について増強計画を準備しており、詳細につきましては、決定次第、順次お知らせいたします。

以 上



磁性材スパッタリングターゲット

※1 PMR (Perpendicular Magnetic Recording : 垂直磁気記録) : 磁化方向をディスク面に対して垂直に配置することで高密度記録を実現する、現行HDDで広く用いられている磁気記録方式。

※2 HAMR (Heat-Assisted Magnetic Recording : 熱アシスト記録) : レーザー光を用いてHDメディアの記録層を局所的に加熱し、従来よりも高い記録密度を実現する次世代の磁気記録方式。

<参考>

[JX金属公式 Note「当社製品が支える、次世代データセンターの進化とHDD需要の広がり」](#)